

1. 日時 平成29年11月16日(木) 5校時

2. 学年 第3学年 17名

3. 単元名 食べ物はかせはだれだ?!

「すがたをかえる大豆」「食べ物のひみつを教えます」

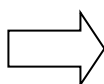
4. 単元について

- 本教材は、大豆をおいしく食べるための工夫を五つの例で説明している典型的な解説型の文章である。解説されている大豆やその加工食品は、児童にとって身近なものである。しかし、大豆の加工食品は、見ただけでは原料が大豆とは分からないものも多く、児童にとっては新鮮な驚きをもらす教材である。自分の食生活や日本の食文化を見つめ直すことにもつながり、食育という観点からも貴重な題材であると考えられる。

また、言語活動に関わっても良質な教材である。「すがたをかえる大豆」は、児童が繰り返し学んできた「はじめ」「中」「終わり」の組み立てで書かれている。「中」の段落が並列の関係にあり、各段落の最初の文が説明の中心となる文になっている。このため、説明の中心となる文を捉えることで、段落相互の関係を捉え易い。さらに、「いちばん分かり易いのは」「さらに」などの言葉を細かく読み取ることで、事例が提示される順番にも、作者の意図があることを読み取ることができる。なお、文章以外にも写真と文章を対応させている点も、読者に内容を分かり易く伝えるための工夫と言える。文章のつながりに気を付けて内容を読み取ると共に、読者に分かり易く説明する順序や効果についても読み取ることで書く活動や、3学期以降の説明文の学習につながっていく教材であると考えられる。

児童の実態・課題

- 「はじめ」「中」「終わり」を意識して読み書きすることができる。
- 課題意識をもって学習に取り組み、一人一人が自分の考えを書いたり、まとめたりすることができるようになってきている。
- 友達の考えをしっかりと聞き、自分の考えと比べようとする児童が増えてきた。
- 段落相互の関係を意識して読み書きすることは十分でない。



めざす児童像

- 既習事項とつなげて、学習課題を見つけ、意欲的に課題に取り組む児童。
- 課題意識をもち、一人一人が自分の考えを読んだり、まとめたりできる児童。
- 自分の考えと、友達の考えを比べあって聞き、共に学習を深め合うことができる児童。
- 説明の中心となる文に着目し、段落相互の関係を捉えて読み書きできる児童。

本単元で育てたい資質・能力

①課題発見・解決力	○
②知識・情報活用能力	○
③表現力	◎
④コミュニケーション能力	
⑤チャレンジ精神	
⑥自らへの自信	



手立て

- 中心文を捉えさせるために、「はじめ」「中」で繰り返されている「くふう」というキーワードに着目させて段落の中心となる言葉を見付けやすくする。
- 次単元「食べ物のひみつを教えます」を連動させて一つの単元に組み込むことで、「自分で食べ物のひみつを説明する文を書くために分かり易い構成や書き方を読み取る。」という課題意識をもった学習につなげる。
- 紹介する食べ物が同じ相手との話し合いだけでなく、紹介する食べ物が異なる相手とも発表会を通して情報を比べあって聞き、自分の考えと友達のを聞き比べることが必要な場を設定する。
- 「いちばんわかりやすいのは」「次に」などの言葉や各段落の詳細から、事例が提示されている順番にも筆者の意図が込められていることを考えさせる。

使わせたい用語

「段落」「はじめ」「中」「終わり」「問い」「答え」
「いちばんわかりやすいのは」「次に」「また」「さらに」「これらのほかに」「このように」

5. 単元の目標

- ・中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。 【読むこと(1)イ】
- ・内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読むことができる。 【読むこと(1)エ】
- ・内容の中心が伝わるように音読できる。 【読むこと(1)ア】
- ・目的に適した事例を複数挙げながら、説明する文章を書くことができる。 【書くこと(1)イ】
- ・「初め」「中」「終わり」の構成を意識し、「中」の事例を絵と組み合わせながら段落に分けて書くことができる。 【書くこと(1)ウ】
- ・文中の語句について、国語辞典を利用して調べることができる。 【伝国(1)イ(カ)】

6. 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読むこと	書くこと	伝国
内容に関心を持ち、調べて分かったことを説明しようとしている。	<ul style="list-style-type: none">・中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。・内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読むことができる。	<ul style="list-style-type: none">・目的に適した事例を複数挙げながら、説明する文章を書くことができる。・「初め」「中」「終わり」の構成を意識し、「中」の事例を絵と組み合わせながら段落に分けて書くことができる。	意味の分からない語句について、国語辞典を使って調べている。

7. 指導と評価の計画（全11時間）

次	時	学習活動	評価					評価方法
			関・意	読む	書く	伝国	評価規準	
第1次	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「食べ物のひみつを教えてください」までを読み、調べたい食べ物を決め、どんなことを調べるか見通しをもつ。 ・学習課題を設定し、学習計画を立てる。 <p>課題発見・解決力</p>	◎			○	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の調べたい食べ物を挙げている。 ・意味の分からない語句について、国語辞典で調べている。 	ノート 発言 行動
第2次	2	<p>調べたい食べ物について調べ、図や表にまとめる。</p> <p>知識・情報活用能力</p>	○		◎		<ul style="list-style-type: none"> ・調べたい食べ物について進んで調べ、図か表にまとめている。 	ノート 発表
	3・4	<p>段落分けを確かめ、文章全体の組み立てを捉える。</p> <p>知識・情報活用能力</p>		◎			<ul style="list-style-type: none"> ・教材文を「初め」「中」「終わり」の大きく3つに分け、それぞれの部分のおおまかな内容と役割を捉える事が出来ている。 	ノート
	5 (本時)	<p>「中」の段落の内容を読み取り、説明のしかたの工夫を見付ける。</p> <p>課題発見・解決能力</p>		◎			<ul style="list-style-type: none"> ・段落の中心となる文を捉えている。 ・文章中の表現や言葉に注目し、説明の順序について考えている。 	ノート 発表
	6	<p>「終わり」を読み、多くの食べ方が考えられた理由をまとめる。</p> <p>知識・情報活用能力</p>		◎			<ul style="list-style-type: none"> ・「終わり」を読み、多くの食べ方が考えられた理由をまとめている。 	ノート 発表
第3次	7	<p>選んだ食材について調べたことを、「初め」「中」「終わり」の組み立てを考えて、文章構成表としてまとめる。</p> <p>表現力</p>			◎		<ul style="list-style-type: none"> ・分かり易い文章になるよう、構成を考えている。 	ノート

8 9 10	選んだ食材について、事例を上げながら表現を工夫して文章に書く。 表現力			◎	◎	・文章の組み立てに沿って、分かり易い文章を書いている。	作品
11	作品を交流し、分かり易い表現になっているか意見を交換する。 表現力	○		◎	◎	・交流したものをもとに、分かり易い説明の工夫について考えたり、意見を言い合ったりしている。	ノート 行動

8. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・中心になる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解する。
- ・読み取ることで、事例が提示されている順番にも理由があることを理解する。
- ・分かり易く伝えるための工夫としての、写真の効果を考える。

(2) 観点別評価規準

◎段落相互の関係を考えながら、文章中の表現や言葉に注目し、説明の順序について考えることができる。(読む)

(3) 準備物

教：第③～⑦段落の「工夫」をまとめた短冊、写真、
「いちばん分かりやすいのは」「次に」といった接続詞カード

【習得している知識・技能等】

- ・「はじめ」「中」「終わり」
- ・「問い」と「答え」
- ・国語辞典の使い方

本時の学習を通して育てたい力

- 文章中の表現や言葉に注目し、段落相互の関係を考えることができる。
- 分かり易く表現するための写真や話題の順序を理解する。

(4) 学習の展開

過程	学習活動 主な発問 (◎) と予想される 児童の反応 (・)	指導上の留意事項 (・) と「努力を要する」状況と判断した児童への支援 (●)	評価規準 (評価方法)
つかむ	<p>1 前時まで調べた自分が紹介する食べ物の図や表を確かめ、本時は本文から、自分が書く際に参考となるよう、説明の内容と書き方の工夫を考えていくことを確かめ、課題を設定する。</p> <p>2 本時の課題意識をもち、めあてを設定する。</p>	<p>・前時で考えた文章の組み立てを振り返り、本時は「中」を詳しく読んでいくことを確認する。</p>	
<p>自分が選んだ食材を説明するために、「中」の書き方のよさを見つけよう。</p>			
	<p>3. 「中」の③段落から⑦段落を読んで、大豆をおいしく食べる工夫が書いてある文を探し、線をひく。</p> <p>◎筆者が「中」で紹介している、「おいしく食べるくふう」とはどんな工夫ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆をその形のままいたり、煮たりしてやわらかく、おいしくする工夫 (③) ・こなにひいて食べる工夫 (④) ・大切な栄養だけを取り出して、ちがう食品にする工夫 (⑤) ・目に見えない小さな生物の力を借りて、ちがう食品にする工夫 (⑥) ・取り入れる時期や育て方の工夫 (⑦) <p>◎筆者は何故この順番で説明したのでしょうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆だと形の分かり易いものから説明している。 ・③段落の最初に「一番分かり易いのは」と書いてあるので、工夫が簡単なものから説明していると思います。 ・いきなり小さな生物の力を借りる工夫の話になると、難しいので、粉にするとか、炒るとか、分かり易いものから説明していると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段落の中大事な文を、「中心文」ということを確認する。 ・教師用の短冊には「～の工夫」という短い言葉で、各段落の内容をまとめる。 ・グループ・トークで確かめる。 <p>・児童が発表した順に黒板に「～の工夫」とまとめた短冊を貼っていく。</p> <p>・わざと「担任が好きな順」に順序を変えて貼り、教科書と比較して、「筆者がなぜその順序で並べたのか」順序性について考えていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一段落で「大豆はいろいろな食品に姿をかえていることが多いので気づかれないのです。と筆者が述べていたことにも着目させる。 ・題名にも意識が向くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段落の中心となる文を捉えている。 (読む) 教科書 ・文章中の表現や言葉に注目し、説明の順序について考えている。 (読む) 発言

<p>4. まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者は、見て大豆だと分かり易いものから順番に説明している。 ・筆者は、作り方が簡単なものから説明している。 ・筆者は、写真も使って、読む人に分かり易く説明している。 <p>5. 筆者が見て分かり易い順に説明していることを知り、自分ならどのような順番で説明するのかを考えて友達と説明し合う。</p> <p>6. ふりかえる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真もヒントになるようにする。 <p>・「よく食べるのは」「分かり易いのは」「給食でよく見かけるのは」など、例示を上げて、意図をもって順序が工夫できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意図をもって順序を並べ替え、説明している。 <p>(ワークシート)</p>
--	--	--

9. 板書計画

